

島根県宍道湖流域下水道事業等におけるウォーターPPP導入可能性調査に係る 民間市場調査結果の公表について

令和7年12月18日
島根県 土木部下水道推進課

1. 民間市場調査実施の経緯

島根県宍道湖流域下水道及び松江市、安来市の流域関連下水道を対象にウォーターPPPの導入を検討するにあたり、本事業に関心を持つ事業者を幅広く把握し、参入に対する意向、懸念、課題や条件などについて意見を収集し、ウォーターPPPの事業範囲等の検討に活用することを目的に民間市場調査（マーケットサウンディング）を実施しました。

2. 民間市場調査の実施スケジュール

令和7年5月下旬 : 説明会案内送付
令和7年6月6日（金） : 参加申込締切
令和7年6月16日（月） : 説明会開催
令和7年6月30日（月） : アンケート締切

3. 民間市場調査の参加者

(1) 表 1 説明会参加者

業種		案内配布（社）	説明会参加数（社）
島根県	工事関連	34	23
	設計関連	15	6
松江市	工事関連	15	15
	設計関連	7	7

(2) 表 2 アンケート回答者

業種	島根県内企業※1（社）	島根県外企業※2（社）
建設	9	0
プラントメーカー	0	3
維持管理（処理場）	8	2
維持管理（管路）	4	0
コンサルタント	4	1
合計	25	6

※1：本社が島根県内に存在する企業

※2：本社が島根県外に存在する企業

4. 民間市場調査の対象施設

(1) 表3 民間市場調査の対象施設

	対象施設	① 島根県	② 松江市	③ 安来市
島根県 (流域下水道施設)	処理場	○		
	ポンプ場	○		
	マンホールポンプ	○		
	管路	○		
松江市 (流域関連公共下水道施設)	ポンプ場		○	
	マンホールポンプ		○	
	管路		○	
安来市 (流域関連公共下水道施設)	マンホールポンプ			○
	管路			○

※「○」が対象施設

5. 民間市場調査の対象とした事業スキーム

(1) 表4 民間市場調査の対象とした事業スキーム

	対象施設	① 島根県	② 松江市	③ 安来市	④ パターンA	⑤ パターンB
島根県	処理場	○			○	○
	ポンプ場	○			○	○
	マンホールポンプ	○			○	○
	管路	○				
松江市	ポンプ場		○			○
	マンホールポンプ		○			
	管路		○			
安来市	マンホールポンプ			○		
	管路			○		

※「○」が対象施設

※④パターンAは、現在、宍道湖流域下水道で実施している包括的民間委託と同じ事業スキーム

※⑤パターンBは、④パターンAに松江市の管理しているポンプ場を含めた事業スキーム

6. 民間市場調査結果の概要

【1】：ウォーターPPPへの理解度

- 企業所在地が県内外を問わず、「理解している」「おおむね理解している」が多い結果となった。
- 全体では、21/31社（68%）が「理解している」「おおむね理解している」と回答。
- 県外企業（主に大企業）は6/6社（100%）が「理解している」と回答。
- 県内企業（主に地元企業）は15/25社（60%）が「理解している」「おおむね理解している」と回答。

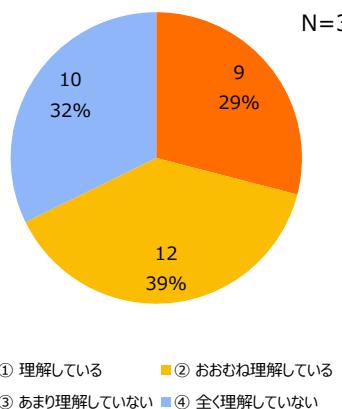


図 1 ウォーターPPPをどのくらい理解しているか（全企業）

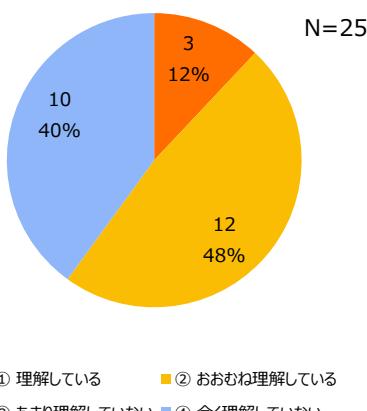


図 2 ウォーターPPPをどのくらい理解しているか（県内企業）

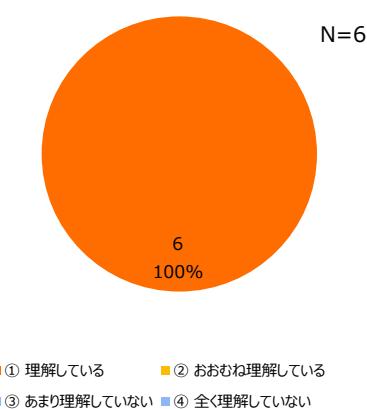


図 3 ウォーターPPPをどのくらい理解しているか（県外企業）

【2】：島根県・松江市・安来市を「個別」で事業実施するか、「一体」で事業実施するか

- 「個別」で事業実施したい企業が多い結果となった。
- 24社/31社（78%）が「県・市個別実施」と回答。（図4参照）

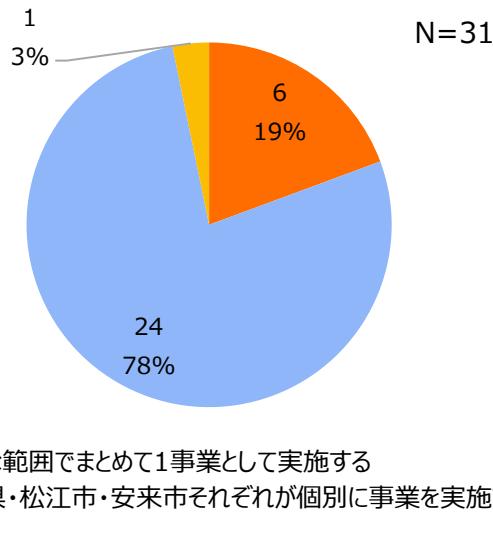


図 4 事業の実施方法 （全企業）

【3】：島根県（全施設）への参入意向

- 参入意欲は高い結果となった。
- 島根県の全施設について 20/31 社（64%）が「参入したい」「条件によっては参入したい」、11/31 社（36%）が「参入の意向はない」と回答。（図5参照）

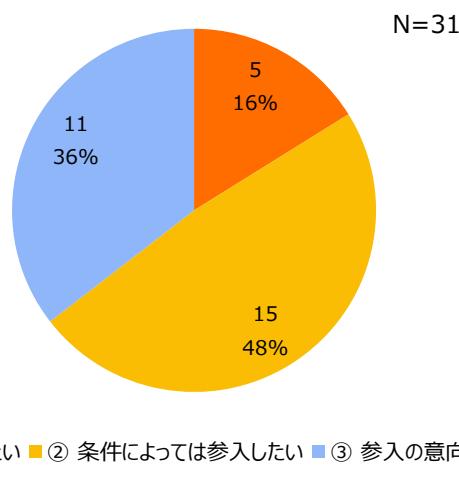


図 5 島根県の全施設で実施する場合の参入意欲（全企業）

※松江市・安来市施設への参入意向については割愛する。

【4】: パターンAへの参入意向

- 参入意欲は高い結果となった。
- 16/31社 (51%) が「参入したい」「条件によっては参入したい」、15/31社 (49%) が「参入の意向はない」と回答。 (図6参照)

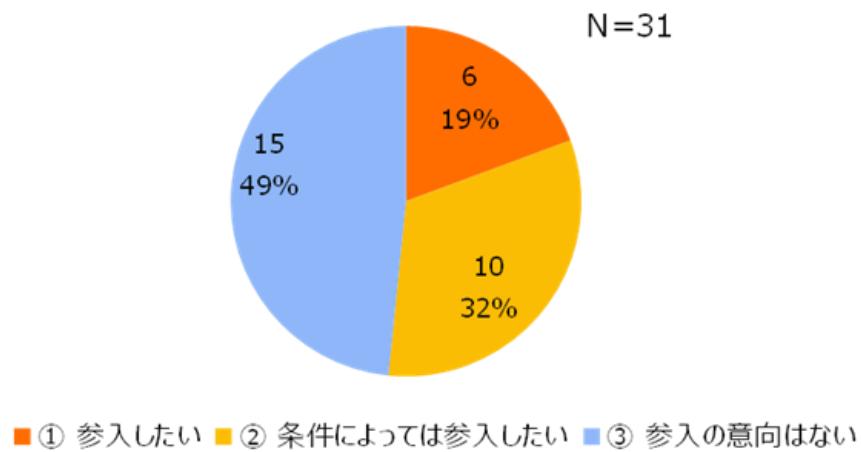


図 6 パターンAで実施する場合の参入意欲 (全企業)

【5】: パターンBへの参入意向

- 参入意欲は高い結果となった。
- 17/31社 (54%) が「参入したい」「条件によっては参入したい」、14/31社 (45%) が「参入の意向はない」と回答。 (図7参照)

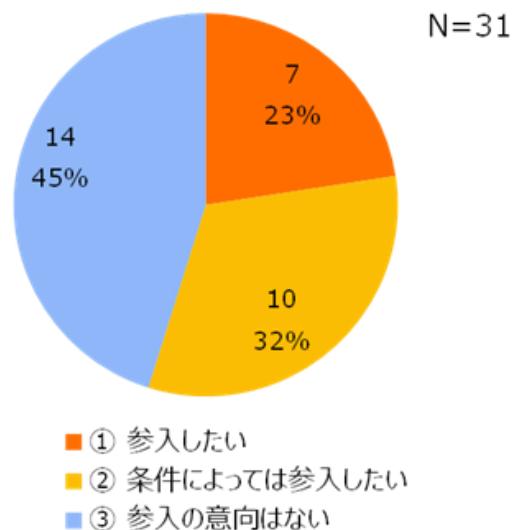


図 7 パターンBで実施する場合の参入意欲 (全企業)

【6】：ウォーターPPPの業務範囲に「管路」を含めるか含めないか

- 「管路」の別発注に賛成という企業が多い結果となった。
- 26/31社(84%)が「賛成」、3/31社(10%)が「反対」、2/31社(6%)が未回答。(図8参照)
- 「管路」の別発注に賛成という理由では、「④発注方式が変わり受注機会が失われる恐れがあるため」が12/26社(46%)、次いで「③下水管路はリスクが大きいため」が9/26社(35%)、「⑥下水管路の修繕箇所が不透明な状況で対応することへの不安」が6/26社(23%)であった。

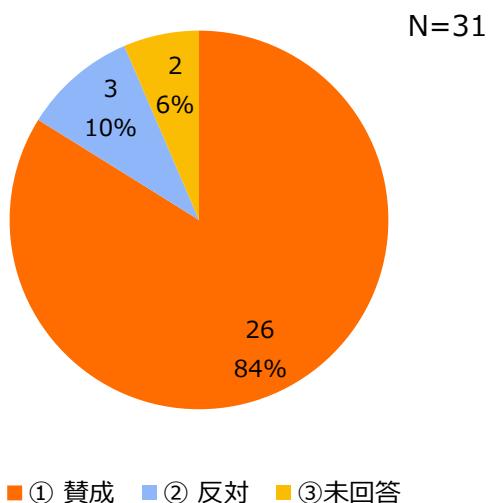


図 8 ウォーターPPPで管路を対象外(別発注)にすることへの賛成・反対

7. 民間市場調査結果を踏まえた今後の方針

今回の民間市場調査では、処理場と管路の一体事業の実施は困難であるというご意見をいただきました。今後、民間市場調査結果を踏まえて、導入に向けた詳細検討を行う予定です。